

宗像市文化芸術のまちづくり10年ビジョン(後期) 進捗状況

重点プロジェクト	平成29年度実績	平成30年度予定
①すべての市民が文化芸術を鑑賞・体験できる環境をつくります		
1-1 文化芸術活動と鑑賞機会の確保	(1) 市内全ての幼稚園・保育園、小・中学校や福祉施設・病院、コミュニティ・センターでアウトリーチ事業を実施した。〔85回、参加者数 9,769 人〕	(1) 幼稚園・保育園、小・中学校や福祉施設・病院、コミュニティ・センターでアウトリーチ事業を実施する。
(1) 宗像ユリックスアウトリーチ事業		
1-2 宗像ユリックスでの鑑賞機会の創出	(1) 音楽(クラシック)12本、音楽(クラシック以外)13本、名画シアターなど映画11本、百円寄席などの演劇・古典芸能4本、美術2本、いきいき出前コンサート85本、ワークショップ47本などのその他7本を実施した。〔総合計 181本、総入場者数 46,745 人〕 (2) 平成29年11月10日(金)に市内小学4年生を対象にして宗像ユリックスハーモニーホールで、九州管楽合奏団による演奏会を実施した。〔午前公演 505人、午後公演 415人 総合計 920人(引率教師含む学校来場者数)〕 (3) 平成30年3月14日(水)から同年4月1日(日)までの期間、宗像ユリックス美術ギャラリーで、没後50年中村研一展(「大きなクスの木の下で」美術館展Vol.9)を実施した。〔来場者数 946人〕	(1) クラシック音楽を中心として、一般や子ども、家族といった多くの方を対象にした各種コンサートを実施する。一部事業については宗像ユリックス開館30周年事業として位置付け、実施する。 (2) 平成30年11月15日(木)に市内小学4年生を対象にして宗像ユリックスハーモニーホールで、九州管楽合奏団による演奏会を実施する。 (3) 平成31年2月2日(土)から同年2月24日(日)までの期間、宗像ユリックス美術ギャラリーで、福岡県立美術館所蔵品巡回展(「大きなクスの木の下で」美術館展Vol.10)を実施する。
(1) 宗像ユリックス文化芸術鑑賞事業 (2) 小学校4年生文化芸術鑑賞事業 (3) 「大きなクスの木の下で」美術館展		
1-3 文化芸術の体験機会の創出	(1) 平成29年7月30日(日)に親子対象伝統文化体験プログラム(華道・舞踊・民謡・詩吟・謡曲・三曲)を実施した。〔参加者数 16人〕 小・中学校での伝統文化出前授業を7回(華道2、茶道1、三曲2、詩吟1、民謡1)、一般の人を対象にした伝統文化出前コンサートを3回(三曲2、舞踊1)実施した。〔参加者数 479人〕 (2) 平成29年7月30日(日)に「ジャジャジャジャーンで始まる！わくわく・ドキドキオーケストラ体験！！Vol.4」を宗像ユリックスハーモニーホールで実施した。〔来場者数 436人〕 平成29年10月7日(土)・8日(日)に開催した宗像ミアーレ音楽祭の中で、「楽器で遊ぼう！音のミュージアム」を実施した。〔来場者数 3,000 人〕 平成29年8月31日(木)に中川英二郎クリニックを宗像ユリックスイベントホールで実施した。〔来場者数 150人〕 ユリックス ジュニアプラスは毎週火曜日(17～19時)、宗像ユリックスで練習を行い、プリンセス女子駅伝や全国豊かな海づくり大会関連イベントで演奏を行った。	(1) 平成30年8月19日(日)に親子対象伝統文化体験プログラムを実施する。小・中学校での伝統文化出前授業や一般の人を対象にした伝統文化出前コンサートを実施する。 (2) 宗像ユリックスで「わくわく・ドキドキオーケストラ体験！！Vol.5」「わくわく・ドキドキオーケストラと遊ぼう」を実施する。 平成30年9月29日(土)・30日(日)に開催する宗像ミアーレ音楽祭の中で、前年度同様に音楽体験イベントを実施する。 4月28日(土)宗像ユリックスで「白石光隆ピアノ謎解き音楽講座～もっと知りたいピアノの秘密」を実施する。 ユリックス ジュニアプラスは毎週火曜日(17～19時)、宗像ユリックスで練習を行い、プリンセス女子駅伝等のイベントにおいて、演奏する。 (3) 子ども達のコミュニケーション能力や表現力の向上等を目的として、小学校を対象にコンテンポラリーダンスによるアウトリーチを実施する。併せて、各小学校でのダンス授業の実態把握を行い、継続実施に向けたノウハウを蓄積する。 ホールスタッフの企画・制作能力の向上と創造性豊かな地域づくりにもつなげる。
(1) 伝統文化次世代継承事業 (2) 音楽体験事業 (3) 公共ホール現代ダンス活性化事業【新規】		
②文化芸術のつくり手の活動を支えます		
2-1 市民文化芸術活動の発表機会の充実	(1) 四大文化事業を実施した。 ・芸術祭；平成29年6月17日(土)・18日(日) 〔来場者数 2,268人〕 ・吹奏楽祭；平成29年7月2日(日) 〔来場者数 2,000人〕 ・文化祭；平成29年9月9日(土)～11月26日(日) 〔来場者数 2,197人〕 ・こども芸術祭；平成29年11月19日(日) 〔来場者数 1,028人〕 (2) 宗像ミアーレ音楽祭で、宗像ユリックス館内外に市民ステージを設け、子どもから大人までが出演した。 ホワイエステージ(大人)〔24組 309人〕 ホワイエステージ(子ども)〔15組 69人〕 古墳広場ステージ〔33組 36人〕 (3) 平成29年11月から毎月第1木曜日に宗像ユリックスレストランでのコンサートを実施し、宗像市内の団体・個人の発表の場を設けた。	(1) 四大文化事業を実施する。 ・芸術祭；平成30年6月16日(土)・17日(日) ・吹奏楽祭；平成30年7月1日(日) ・文化祭；平成30年10月13日(土)～12月2日(日) ・こども芸術祭；平成30年10月8日(月・祝) (2) 宗像ミアーレ音楽祭で、前年度同様に市民ステージを設ける。 (3) 宗像ユリックスレストランでのコンサートを、毎月1回第3木曜日に実施するとともに、新たな場所の検討を行う。
(1) 四大文化事業の開催 (2) 宗像ミアーレ音楽祭市民ステージの設置 (3) アマチュア団体・個人の発表の場の提供【後期～】		

2-2 若手芸術家の育成支援 (1) 大学生のアウトリーチ出演 (2) 吹奏楽部員音楽指導【後期～】	(1) 平成29年11月2日(木)に宗像ユリックスで開催したレストランコンサートにおいて、福岡教育大学院生(音楽専攻)の学生3人が出演した。 (2) 平成29年九州管楽合奏団の団員8名が市内中学校吹奏学部に出向き、奏法指導・合奏指導を実施した。〔指導中学校 6校、参加者数 夏季186人、冬季176人〕 この演奏指導を平成29年11月5日(日)に開催した宗像市・福津市の中学・高校・大学の吹奏学部・市民吹奏楽団・ユリックスジュニアプラスによる「ミアーレ吹奏楽団500人コンサート」につなげた。 平成30年3月17日(土)、18日(日)の2日間で、中学校吹奏学部を対象とした楽器クリニックと吹奏楽コンクール課題曲コンサートを実施。〔参加中学校 6校、参加者数 420人〕	(1) アウトリーチ事業を実施する際、引き続き大学生の活用も検討する。 (2) 市内中学校吹奏学部九州管楽合奏団団員8名が出向き、奏法指導と合奏指導を実施する。 平成30年11月25日(日)に宗像市・福津市の中学・高校・大学の吹奏学部・市民吹奏楽団・ユリックスジュニアプラスによる「ミアーレ吹奏楽団500人コンサート」を実施する。
2-3 データベースの構築と拡大 (1) データベースの作成・活用 (2) データベースの拡大	(1) 宗像ミアーレ音楽祭に参加した団体等の情報を集約し、レストランコンサート等の事業で活用した。 (2) 交流サロンの開催に合わせて、今後、実施予定。	(1) 市と宗像ユリックスが連携し、音楽分野だけでなく、様々な芸術分野でのデータベースの作成・活用を行う。 (2) 交流サロンの開催に合わせて、今後、データベースの拡大を行う。
2-4 ネットワーク形成の促進 (1) 講演会や交流サロンの開催【後期～】	(1) データベースの構築と拡大に合わせ、今後、実施予定。	(1) データベースの構築に合わせ、交流サロンを実施する。
③文化芸術を活用したまちづくりを推進します		
3-1 文化芸術活動団体助成事業 (1) 文化芸術活動事業補助金	(1) 旧制度1件(宗像少年少女劇団 500千円)、新制度1件(MMST 394千円)の合計2件の助成を行った。	(1) さらなる補助金の活用に向け、周知を図り、市内外の団体への文化芸術活動事業補助金の助成を行う。
3-2 文化芸術の他分野への活用 (1) 高齢者施設文化芸術ワークショップの開催 (2) 子育て文化芸術ワークショップの開催【後期～】 (3) 障がい者を対象とした文化芸術活動の調査・研究【後期～】	(1) 福祉施設の入所者や通所者を対象とした「いきいき出前コンサート」を14回実施した。 (2) 宗像ユリックスとコミュニティ・センターで未就学児とその親を対象にしたすくすくコンサートを10回実施した。 (3) 福岡女子大学と連携し、障がい者がどのような芸術活動を行っているかなど、アンケートとヒアリングによる実態調査を行い、平成30年度以降の取り組みを検討した。	(1) 従来の「いきいき出前コンサート」に加えて、ダンス、演劇等を取り入れた参加型のワークショップについても、施設等の意向を踏まえ検討する。 (2) 従来のすくすくコンサート世代を対象として、演劇のコミュニケーションプログラムを取り入れたワークショップを実施し、子育てしている人の課題解決につなげる。 (3) 平成29年度の取り組みを踏まえ、障がい者に文化芸術に触れる機会を提供するだけでなく、共生社会の実現にもつながる取り組みを実施する。
3-3 市の魅力となる文化芸術の創出 (1) 音楽があふれるまち・宗像【後期～】 (2) 宗像ミアーレ音楽祭	(1) (2) 宗像ミアーレ音楽祭を開催するとともに、コミュニティ・センターや学校、福祉施設等でのアウトリーチ事業「いきいき出前コンサート」を実施した。	(1) (2) 宗像ミアーレ音楽祭を開催するとともに、コミュニティ・センターや学校、福祉施設等でのアウトリーチ事業「いきいき出前コンサート」を実施する。
3-4 国際交流を通じた文化芸術活動の促進 (1) 国際交流による文化芸術活動の推進【後期～】 (2) 大規模国際大会を契機とする文化芸術活動の推進【後期～】	(1) 10月～11月にかけ、金海市大成洞博物館と海の道むなかた館の学芸員が互いに行き来し、市史編さん事業及び文化財保護事業の実態調査・情報交換を行った。 (2) 2020年東京オリンピック・パラリンピックでブルガリア柔道とロシア女子ラグビーの選手団が本市でキャンプをすることが決定。	(1) 10月～11月にかけ、金海市大成洞古墳博物館と海の道むなかた館学芸員が互いに行き来し、文化財保護事業等の実態調査・情報交換を行う。 (2) 平成30年度からもブルガリア柔道とロシア女子ラグビーの選手団が、年間を通じて事前キャンプをすることになっており、選手団との交流を通じた文化芸術活動の促進を図る。

④文化芸術的資源を保存・活用・継承します

4-1 歴史文化資源の把握		
(1)新修宗像市史編さん【後期～】 (2)市民調査員制度の活用【後期～】	(1)宗像市内外に点在する資料の収集及び調査研究を行い、編集に必要な資料を作成し、新修宗像市史の編集を行った。 (2)修験道の道、大島・地島等の年中行事等の間取り調査を実施、述べ27人の市民協力員の協力があつた。	(1)宗像市内外に点在する資料の収集及び調査研究を行い、編集に必要な資料を作成し、新修宗像市史の編集を行う。 (2)市民協力員対象に講習会を実施し、宗像市内の祭礼(宮座等)調査等を実施する。
4-2 文化財等の保存・活用・継承		
(1)子どもたちへのふるさと学習の実施【後期～】 (2)世界文化遺産(予定)の保存・管理・調査研究【後期～】 (3)史跡の整備、利活用 (4)文化財指定の推進 (5)市が関与する文化財等の適正な収蔵、管理	(1)「世界遺産学習を核としたふるさと学習」を推進していくために、カリキュラム・指導案・副読本の作成を世界遺産学習検討委員会で行った。(H28・29の2ヶ年) 作成したカリキュラム・指導案をもとに、先行実施として、玄海学園や大島学園を中心に、世界遺産学習を行った。 (2)7月に「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群は世界文化遺産に登録され、10月に沖ノ島の一ノ岳を中心に半径2kmの円状の範囲が国指定「宗像神社境内」に追加された。保存管理や調査研究を充実させるため国指定史跡「宗像神社境内」保存管理計画の改訂、「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群国指定史跡「宗像神社境内」整備基本計画、世界遺産グランドデザイン(仮称)の各種計画について検討した。 (3)田熊石畑遺跡は、周年祭、秋祭り、村っ子づくり事業、歴史講座等を実施し、約28,000人の来園者があつた。 国史跡田熊石畑遺跡の追加指定地の公有地化を行った。 (4)「宗像大社みあれ祭」・「王丸神社棟札」・「王丸神社宮座行事関係資料」の市指定を行った。 (5)市大井収蔵庫のほか、関連する宗像大社神宝館・福岡教育大学郷土資料室の整理及び台帳化を進めた。	(1)作成したカリキュラム・指導案・副読本等をもとに、全小・中・義務教育学校で、「世界遺産学習を核としたふるさと学習」を4月から実施していく。 11月17日には、世界遺産学習全国サミットを宗像市で開催し、宗像市の子どもたちと教員が全国の皆様と全体会や分科会を通じて、これからの宗像や日本における自分たちの在り方等について、考え、学び合う機会にしていける。 (2)国指定史跡「宗像神社境内」保存管理計画の改訂、「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群国指定史跡「宗像神社境内」整備基本計画、世界遺産グランドデザイン(仮称)の各種計画を完成させ、保存管理の実効性を高める予定。 (3)秋祭り、周年祭、村っ子づくり事業、歴史講座等を開催する。 (4)「八所宮御神幸祭」の市無形民俗文化財指定を予定。 (5)市収蔵庫、神宝館・福岡教育大学郷土資料の整理及び台帳化を進める。
4-3 郷土文化学習交流館(海の道むなかた館)等の活用		
(1)海の道むなかた館の各種企画展の実施・告知 (2)海の道むなかた館の世界遺産コーナー及び常設展示のリニューアル【後期～】 (3)大島資料館の改修【後期～】	(1)入館者数約180,000人。第2展示室では寄贈を受けた納富賢智の絵画展や児童絵画展等を開催した。 常設展示室リニューアル工事中は企画展示「宗像の民 ～海と里の結びつき」体験学習室で1ヶ月程度開催した。告知は広報紙・ホームページ上等で告知した。 (2)世界遺産コーナーは、新規パネルを作成・掲示するとともに、常設展示室リニューアルは大型スクリーンを設置し、仮映像を放映した。 (3)大島資料館の建物を改修し、7月に開館した大島交流館は、世界遺産である「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群、大島の歴史と自然、沖ノ島との関わり、島の人たちの暮らしなど、大島の様々な魅力について、映像、パネル等作成した。開館後の来訪者数は20,902人。	(1)特別展示は、平成31年1月～2月にかけ漫画「宗像教授異考録」の原画と併せ、内容に即した考古学資料を展示する。 (2)世界遺産コーナーに地域学芸員の要望が多かった世界遺産大型年表を設置するとともに、常設展示はテーマを再検討し、模型等を用いたわかりやすい展示へリニューアルする。 (3)季節に応じた企画展示や大島の植物を中心とした特別展示を実施する。
4-4 地域学芸員の養成		
(1)地域学芸員の研修機会の提供 (2)地域学芸員の活動の場の提供	(1)リニューアルや企画展示に伴う説明会のほか、郷土文化学習交流館協議会委員との意見交換会を実施した。 (2)海の道むなかた館で延べ約2,000人の地域学芸員が館内案内ガイドの協力活動を行った。	(1)第3期の地域学芸員募集を行い、初級講座を実施する。 (2)年間18万人の来館者に対応できるよう引き続き協力を依頼する。

⑤文化芸術に関する総合的な仕組みをつくります

5-1 元気なまちづくり基金の活用		
(1)基金果実有効活用	(1)元気なまちづくり基金の益金を活用し、小学4年生芸術鑑賞事業、文化芸術活動事業補助金などの事業を実施した。	(1)元気なまちづくり基金を活用し、小学4年生芸術鑑賞事業、文化芸術活動事業補助金などの事業を継続させる。
5-2 宗像ユリックスの拠点機能強化		
(1)文化芸術のまちづくりの10年ビジョンの推進【後期～】 (2)コーディネーターの養成及び相談への対応	(1)宗像ユリックスでの芸術鑑賞事業やアウトリーチ事業など、市と連携し、ビジョンを推進した。 (2)全公文が実施する「全国劇場・音楽堂等アートマネジメント研修会」や(一財)地域創造の「地域創造フェスティバル」に職員を派遣し、先進地の事例習得などに努めた。	(1)芸術鑑賞事業だけに留まらず、交流サロンの開催や文化芸術の他分野活用など、新規の取り組みに着手する。 (2)「現代ダンス活性化事業」(主催:地域創造)の取り組みを開始し、新たなジャンルでのコーディネート力の向上を目指す。
5-3 文化芸術に関する学校・地域との連携		
(1)大学との協働・連携【後期～】 (2)幼稚園、保育所、小学校、中学校、高校等との連携【後期～】 (3)コミュニティ運営協議会等との連携【後期～】	(1)ミアーレ吹奏楽団500人コンサートにおいて、福岡教育大学の吹奏楽部が出演した。レストランコンサートにおいて、福岡教育大学院生(音楽専攻)の学生3人が出演した。 (2)市内全ての幼稚園・保育所(19回)、小学校(19回)、中学校(5回)で「いきいき出前コンサート」を実施した。 小学4年生文化芸術鑑賞事業を実施した。 (3)コミュニティ運営協議会から負担金をもらい、「いきいき出前コンサート」を開催した。	(1)ミアーレ吹奏楽団500人コンサートにおいて、福岡教育大学の吹奏楽部の出演に向け、連携を図る。 「公共ホール現代ダンス活性化事業」において、福岡教育大学ダンス部を対象としたワークショップを開催する。 (2)「いきいき出前コンサート」において、幼稚園・保育所・小学校・中学校と宗像ユリックスが連携を図り、実施する。 小学4年生文化芸術鑑賞事業において、各小学校と宗像ユリックスが連携を図り、実施する。 (3)各コミュニティ・センターで開催する「いきいき出前コンサート」において、コミュニティ運営協議会と宗像ユリックスが連携を図り、実施する。
5-4 10年ビジョン検証・評価		
(1)10年ビジョン検証・評価委員会	—	(平成31年度に10年ビジョン検証・評価委員会を立ち上げ、後期ビジョンの取り組みについて検証・評価を行う。あわせて、平成23年度から10年間のビジョン全体を通して、検証・評価を行う。)